

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5 年 12 月 20 日

事業所名

たすきつず

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	2	0	・利用人数や活動内容により、工 夫してスペース確保に努めている。	
	②	職員の配置数は適切である	7	1	0	・加配職員を配置し、1:1~1:2を 基準として適切に配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	4	2	・事業所が2階に位置している為、 階段の上り下りでは、人数制限や 手を繋ぐなど、配慮をしている。	・建物の構造上、完全なバリア フリー化(事業所が2階に位置し ている為、階段がある)は難しい ものの、「階段毎にハッキリとし た色の滑り止めの設置が可能 か」をビルオーナー様に相談し ていく。 又、事業所内では、手すりの設 置について必要かどうかを検討 していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	8	0	0	・モニタリング会議を実施し、職員 でカンファレンスを行い、業務改善 に努めている。又、「朝礼」「昼礼」 「終礼」を可能な限り実施し、情報 共有や意見交換を行い、改善に 努めている。	・職員全員で協力し、より良い支 援を目指していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・非常勤職員を含め、共有し改善 に繋げている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8	0	0	・ホームページにて掲載。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	7	1	0	・令和4年度に実施。	・3年毎の実施を検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	8	0	0	・各種研修(外部研修を含める)周 知を行っており、参加しやすい環 境を整え、内部研修、外部研修と もに実施している。	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・3~4ヶ月の期間で、個別面談(1 時間程度)や個別支援計画の見 直しを行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	・アセスメントシート及びフェイス シートの書式を支援に紐づくこと が出来る様に見直しを図り、本年 度より、新様式にて実施。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・職員会議により、内容を決定して いる。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8	0	0	・様々な体験や経験が積めるよう に毎日様々なプログラムを実施し ている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8	0	0	・療育時間に合わせたプログラム を実施。 (例:学校休業日は、課外活動や 昼食作りなどを行っている)	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8	0	0	・集団の中で個別の目標に目を向 け支援を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・活動案を作成し、常勤職員は朝礼で内容を確認し、非常勤職員を含めて昼礼で全体確認や情報共有をしている。又、しっかりと打ち合わせを行い、職員が感じた疑問点や改善が必要だと感じた事を伝え、話し合い、必要に応じて見直すことが出来ている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・毎日終礼を実施しており、日々の気付きの共有を行っている。又、振り返りまで行う事が難しいケースでは、別日を設定し、検討会を行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		・引き続き、適正に記録を取るよう努めていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・職員会議を開き、利用児童に対する支援方法を検討している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	0	0		・引き続き、様々な経験や体験を積んで頂き、将来の選択肢の幅を広げられるように支援していく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	0		・サービス担当者会議自体があまり開かれていないが、電話にて、情報の共有を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	0	0	・保護者の方を通じて、学校の行事や下校時刻を確認し、利用前日にLINEにてお迎え時刻の確認を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3	1	・医療的ケア児の受け入れをしていない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	1	・児童発達支援事業所や相談支援事業所との連携は図っているが、保育所等については直接連携が図れていない。	・状況に応じて、連携を図っていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	1	・現在まで、該当する児童なし。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	0	・研修会に参加し、日々の支援についても連携に努めている。	・継続的に連携を図っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	2	・公園や公共施設等での活動で関わる機会があり、職員が見守り介入している。	・段階を踏みながら、交流の機会を持てるように、活動の輪を広げていく。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5	3	0	・協議会へ加盟している。	・機会があれば、積極的に参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・連絡帳や日常のLINE連絡、送迎時など、相談しやすい環境を整えている。又、話の内容によって、事業所での相談や電話相談対応を行っている。	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1	0	・今年度、ペアレントトレーニング研修(外部研修)に参加、面談等の機会に困り事や相談に対しての助言や子どもとの関わり方、対応方法について提案している。	・引き続き、社内研修や自己研鑽を行い、知識の共有を行っていく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・見学、契約時に説明している。	・引き続き、丁寧な説明を心掛けていきます。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・適宜、相談助言を行っている。	
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	1	・父母の会や保護者会の実施は行っていないが、各種イベント(歓迎会や夏祭りなど)に保護者の方を招き、交流の場を設けている。	・当事業所で出来る父母会や保護者会のあり方を検討し、実行に繋げられるように改善していく。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	・苦情自体が無い状況。又、体制の整備を整えている。	
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・毎月プログラムカレンダーを作成し、配布している。又、外出活動(施設等)については、概要の詳細が確認できるように、LINEにて、情報データを送付し、周知している。	
	③⑮ 個人情報に十分注意している	8	0	0	・注意を払いながら取り扱っている。	・引き続き、十分に注意を払いながら取り扱っていく。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・視覚支援ツール等を活用し、文章へのルビ振りや連絡帳をすべて平仮名のみで記入するなど、個別対応を取っている。	
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	2	・事業所近くの商店に、買い物体験を行ったり、夏祭りでは、未就学児(見学者)も対象にして、区の施設を借りて、60名程度の規模で行った。	・引き続き、地域交流を行い、繋がりや輪を広げていきたいと思えます。
非常時等の対応	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	1	・各種マニュアルを作成済み。	・マニュアル作成済みではあるが、実践的な活用までに至っていないと思われる為、「常勤職員・非常勤職員」問わず運用し易い様に、保管場所や掲示方法を見直していく。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	・活動で避難訓練を実施している。又、防災館へ防災体験を申し込みを行い、地震体験や台風の雨を体験するなど、防災意識を高めている。	
	④① 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	・定期的を実施。又、ニュース等の共有も行っている。	
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	0	・身体拘束に至らぬよう環境を整え、安全に過ごして頂いている。又、身体拘束を行ったケースはないが、様々なケースを想定し、サービス計画には記載しており、保護者への説明を行っている。	
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	0	・医師からの指示書までは頂いていないが、保護者の方にアレルギーの確認等を行っている。	・引き続き、保護者からの情報に基づき、アレルギー表の更新を行っていく。
④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	1	・書式はあるものの、口頭での共有が多く、事例集の作成までには、至っていない。	・書式の活用方法を明確化し、取扱いし易い運用をしていく。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。